

平成 26 年度 学内教育 G P プログラム 事業経費計画書 (継続型)

学 長 殿

申請者 (プログラム代表者名)

氏 名 三 浦 徹

(部局長等の承認)

私は下記の申請について了承します

職名 教育機構長

氏名 耳塚 寛明

事業名称	出る杭を育てる：タイアップ・キャリアセミナー
取組代表者名 担当者名	三浦 徹 (文教育学部、取組代表) 永瀬 伸子 (生活科学部、教授) 最上 善広 (理学部、教授)
事業内容	<p>学生支援 GP 「出る杭を育てる：企業で女性が輝くための学生支援」(20-23 年度)において実施した「タイアップ・キャリアセミナー」を継続し、企業で活躍し起業する女性リーダーを育成する。当該 GP 事業では、外部講師 (企業のトップ、起業家など) による合宿形式のセミナーを 3 回実施した (参加者は学部・大学院博士前期学生約 20 名)。これに参加した学生は就職活動で成果をあげ、4 年次 (博士前期 2 年次) には後輩の就活支援やセミナーの運営に参画している。23 年度は、こうした学生によってお茶大ビジネス・フォーラム (略称お茶ビス) が結成され、「学生によるマーケティング講座」を実施し、タイアップ・キャリアセミナーは、学生 4 グループによるビジネス・プランの発表と評価・反省を主軸とした。</p> <p>本事業は、出る杭 GP 事業のうち、タイアップ・キャリアセミナーを中心とし、上記学生サークル「お茶大ビジネスフォーラム」と連携して、学生の主体的なキャリアアップ事業を展開する。具体的には、①お茶大生による「よくわかるマーケティング (ビジネス・プラン) 講座 (4 回) と②学生ビジネスコンテストへの参加 (応募) ③ビジネス・プラン発表会 (審査会を含む) を実施する。学生サークルおよび (株) コラボラボと連携して、企画・運営にあたり、坪田秀子学長特別顧問の協力もえている。講座・セミナー参加学生は 20 名程度 (24-25 年度、3 学部にわたり博士前期学生も含む) で、グループを組んでプランニング・発表を行う。25 年度は徽音祭においてビジネス・プラン発表会を開催し、OG や学外からの入場者もえた (大学ウェブサイトにて報告記事掲載 http://www.ocha.ac.jp/news/h251210.html)。</p>
積算内訳	<p>計 40 万円</p> <p>(株) コラボラボ 業務委託費 (マーケティング講座、学生ビジネスコンテスト応募、ビジネス・プラン発表会などへの企画・運営・人員派遣) 30 万円</p> <p>ビジネス・プラン発表会講師等謝金 2 万 x 4 名 8 万円</p> <p>消耗品 (文具代など) 2 万円</p>

平成25年度 学内教育GPプログラム事業（継続型）
現在の進捗状況と今後の事業計画書

取組代表者 三浦 徹

事業名称	出る杭を育てる：タイアップ・キャリアセミナー
現在の進捗状況	<p>本事業は、学生サークル「お茶大ビジネスフォーラム」（会長高見純子、生活科学部3年、ほか幹事4名）および（株）コラボラボ（代表横田響子、本学卒業生）と連携して、学生の主体的なキャリアアップ事業を展開した。</p> <p>具体的には、</p> <p>①お茶大生による「よくわかるマーケティング（ビジネス・プラン）講座（7月、5回）</p> <p>②「学生ビジネス・プランコンテスト」（一般財団法人学生サポートセンター）応募（10月）</p> <p>③キャリア・トーク 10月12日実施（学外ゲストOG 3名：鶴菌美穂理化学研究所、脇田弥輝税理士、和久井真由美日経新聞を招聘）</p> <p>④ビジネス・プラン発表会（審査会を含む、11月9日）を実施した。</p> <p>講座・セミナー参加学生（最終）は12名（25年度、文教育学部・生活科学部）で、グループを組んでプランニング・発表を行った。</p> <p>徹音祭において第3回（通算）ビジネス・プラン発表会を開催し、OGや学外からの入場者もえた。発表プランは下記のとおり。</p> <p>（1）CoLLEDo. 「これ、どうかな？」 服のコーディネイトが無料で相談・公表できるSNSサービス。</p> <p>（2）親子でGO！親孝行☆ 仕事が忙しくて時間がない若手社会人のために、親子どちらもHappyになれる親孝行プランを提供する。</p> <p>（3）おひとりさんぽ ひとりが楽しくなる「ひとり時間」プランを提供するアプリ。</p> <p>（4）異世代♥女子会 いくつになっても女子は女子。一人暮らしの女子学生とおばあちゃんを料理でマッチング。一緒に作って！食べて！喋って！異世代交流。</p> <p>プレゼンテーション（10分）では、スライドをつかい、寸劇もまじえた。質疑ののち、専門審査員（杉野優喜子日本ロレアルトレードマーケティングマネージャー、坪田秀子お茶大学長特命補佐、佐々木栄キャリアシンク代表、横田響子コラボラボ社長、松本香菜子お茶ビズ初代代表、寺田知賀子お茶ビズ第2代代表、三浦徹）と会場審査員（聴衆）の投票により、異世代♥女子会がグランプリを獲得、賞品を授与された。</p> <p>⑤同発表会の記事「第3回ビジネスプラン発表会開催報告お茶大から生まれるビジネスを見逃すな！」を大学ウェブサイトに掲載し、学内外への広報をおこなった。</p> <p>学生団体とこらぼらぼの連携による運営は、参加学生に親近感があり、またビジネス・プラン発表会などでは、お茶ビズのOGが参加し、OGと現役生をまたいだキャリアアップ事業が構築されつつある。</p>
今後の事業計画	<p>26年度は、24-25年度と同様の企画を実施するとともに、お茶大ビジネスフォーラムと（株）こらぼらぼ横田響子氏の連携による運営体制の定着をはかる。予算面での節減をはかり、27年度以降は、学生・キャリア支援事業のひとつとして組み入れることをめざす。</p>

※ この様式は適宜広げて（本用紙を含め2枚以内）記入してください